

隠岐の島町中出張所・診療所・歯科診療所複合新庁舎

設計プロポーザル審査結果について

審査経過の概要

隠岐の島町中出張所・診療所・歯科診療所複合新庁舎設計プロポーザルには、島根県内に本社を置く4者からご提案をいただくことができました。

令和4年3月14日の参加表明書の審査の第一次審査を経て、令和4年4月22日に第二次審査（主観的評価）を行いました。令和4年4月24日には、公開プレゼンテーション・ヒヤリングを隠岐の島町役場中出張所大集会室で実施し、審査員との質疑応答を行いました。その後、各審査員が提出された技術提案を的確性・独創性・実現性などの視点から評価を行い、技術者の資格や技術力等の客観的評価である一次審査の評点を加え、合計点を算出しました。

審査委員会では、各審査委員が意見交換を行い、総合的に判断した結果、矢野建築設計事務所有限会社が最優秀提案者、KNOT設計共同企業体が優秀提案者に選定されました。

新庁舎の設計にあたっては、住民の利便性はもとより、コスト管理、省エネルギー、災害対策の強化が求められています。また、跡地利用等の検討や適正規模の精査にも、十分にご配慮いただきたいと思います。

また、使いやすく持続可能性のある庁舎とするため、計画・設計・建設のプロセスにおいて、隠岐の島町設計検討委員会をはじめとする住民や事務局や職員と綿密な打ち合わせを行うことにも留意願います。

今後、関係者にはこれらの点を十分配慮の上、設計作業や関連の準備業務を進めていただき、新庁舎が地域住民に親しまれる活用される施設となることを委員一同期待するものです。

隠岐の島町中出張所・診療所・歯科診療所複合新庁舎

設計プロポーザル審査委員長 大庭 孝久



〈1〉最優秀提案の評価の概要

【業務実施方針：『大屋根』の下に人々が集う開放的な複合新庁舎】

大屋根をシンボルとした地域の中核施設としての考え方が明快で、町産材を多用した構

造など、本町が求める技術テーマにもきめ細やかに対応されており、中村地域が持つ歴史風土と調和するデザインとなっている。

また、災害時の運用や構造など防災施設としての機能や、中長期にわたる保全計画の設定など、維持管理・管理コストについてもよく考えられている。

大屋根の下に設けられた交流スペースと一体的に利用できる多目的室の設定や、専門業者へのサイン計画委託などの工夫も、地域のにぎわい創出や施設の使いやすさ向上に寄与することが期待できる。

また、新庁舎周辺の環境や跡利用等について調査検討されていることや、住民とのワークショップ及び町との意見調整を重視するなど、地域と一体となって作り上げることへの取り組み姿勢も評価された。

以上により、最優秀提案と評価できる。

〈2〉優秀提案の評価の概要

【業務実施方針：経験と技術力を最大限発揮し、暮らしと健康をささえ、地域の未来をひらく複合庁舎を地域と一緒に作ります。】

ガラスを多用した開放的なデザインが印象的で、中村のクロマツ群を生かした地域のシンボルとしての施設活用方針も面白い。

また、出張所・診療所施設全体が一体となった建物レイアウトや、隣接するスペースがコラボレーションできることなど機能面でも優れているほか、耐久性が高い屋根材である瓦の採用や、優れた防災対策も評価された。

一方で、外に面した柱やガラスを多用したデザインであるが故の維持管理コストや診療施設におけるプライバシー対策の不安、地域への親和性が課題として指摘された。

〈3〉その他提案の評価の概要

【業務実施方針：「出張所と診療所そして郷土館」中地区の特色を活かした施設とします。】

切妻屋根のシンプルなデザインは、地域との調和や維持管理コストの縮減が見込めるといふ点で評価された。

また、一体型施設となったことによる使い勝手の良さや郷土資料スペースの設定も特徴的で住民の利便性や地域への誇り親しみの醸成に寄与することが期待できる。

防災施設としての機能や進入路についてもよく考えられている提案であったが、地域の

シンボルとなる拠点施設としてのインパクトに欠けた。

【業務実施方針：水辺に集う「自然豊かな武良・邑」のコミュニティセンター】

施設中央に配置したフィンガーコートと夜間でも利用が可能な交流スペース「むらのホール」を中心とした印象的なデザインが評価された。

構造材などへの島産木材の活用などトータルコストポリシーも評価されたが、多機能でオープンスペースとなっていることによる建築・管理のトータルコスト面の不安が指摘された。